

島原城工事幕デザイン

Construction sheeting design for increasing tourism

井上博樹

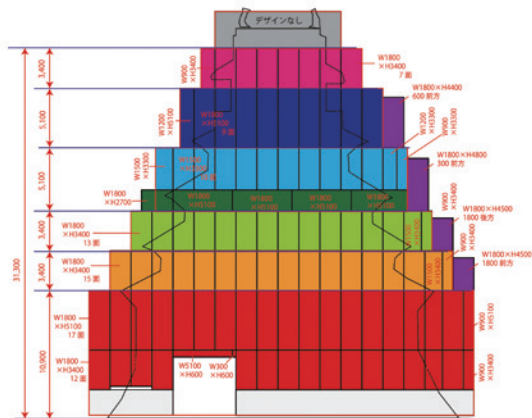
Hiroki Inoue

造形芸術学科



長崎県島原市の島原城では 2024 年に築城 400 周年を迎えることを記念して 2022 年 9 月から改修工事が行われた。工事期間中にも大勢の観光客が訪れることから、城を囲う工事幕のデザインが出来ないかと島原観光ビューローより相談を受けた。学生 2 名が参加し、リサーチ、現地調査、デザイン制作を 8 月後半から進め、2022 年 11 月 10 日に設置が完了。写真を撮影したくなること、そしてその写真が SNS で拡散されることで話題となり、工事期間中にも工事幕を目的に島原城を訪れる観光客が増加することも狙いの一つである。設置後、Twitter、Instagram、Facebook 等の SNS では数多くの写真や感想が投稿されている。

制作年 2022 年 11 月 AD 井上博樹 GD 坂本真央 山本真緒



W33.3m H31.3m 工事幕 108 枚 7 段



レトロなゲーム画面をイメージさせるドット絵を使用



108 枚の工事幕に印刷



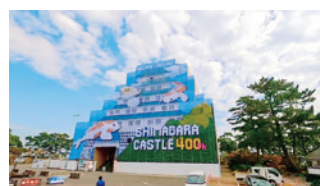
メッシュ生地のため明るく工事作業には影響はない



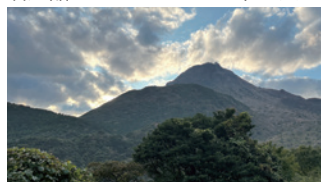
城内説明ボード



タイムラプス映像による施工の様子



名産品などをデザインに取り入れ、島原市の PR に繋げている



雲仙岳



湧水と鯉



寒ごおり



具雑煮



ドローンによる上空撮影